

北電のプルサーマル計画に係る知事コメント（要旨）

- 本日、北海道電力(株)から泊発電所におけるウラン・プルトニウム混合酸化物（MOX）燃料の採用計画（いわゆるプルサーマル計画）について、「泊発電所周辺的安全確保及び環境保全に関する協定書」（以下、「安全協定」という。）第2条に基づく事前了解の協議の申し入れがありました。
- 道としては、今後、地元4町村とも連携しながら、「地域住民の健康を守り、生活環境の保全を図る」という、安全協定の趣旨を踏まえ、専門家の意見を聞くなどして、申し入れの内容を慎重に検討し、適切に判断していきたいと考えております。
- 私としては、泊発電所はわれわれ道民に対して安定的に電力を供給するという観点から、極めて重要な施設であるとともに、何よりも安全性が求められるものと考えており、法令や安全協定の遵守はもとより、関係会社を含め現場における職員の危機管理意識をさらに徹底して安全、安心に努めるよう併せて北電にお願いしました。

平成20年4月18日

北海道知事 高橋 はるみ